

## 難聴者等TC教室 「聞こえにくいと感じたら…」

年3回県内各地で開催している「難聴者等トータルコミュニケーション教室」の第1回を、8月17日(土)名取市増田公民館で開催しました。今年度のテーマは「聞こえにくいと感じたら…」。

宮城県言語聴覚士会のご協力のもと、東北文化学園大学医療福祉学部の高卓輝(たかとう ひかる)教授にお話しいただきました。



耳の構造や聞こえの仕組みについて、また聞こえにくいと感じたら早めに耳鼻科に行き聞こえの診断を受けるといいこと、補聴器は装用後も調整をして定期的な聴覚管理が必要であることなど、参加者の皆さんはうなずきながら聞いていました。



講話後は、ロジャーやコミュニケーション、UDトークなどの会話を補助する機器を試用したり、日々のコミュニケーションでも役に立つ身振りや簡単な手話を学びました。

また、参加された方からは、日々の生活で困っていることやその対策方法をお話いただきました。いろいろな工夫があり、皆さんが参考にしたいと言われていました。

**【次回のトータルコミュニケーション教室】**  
11月16日(土)大崎市で開催します。

## 捨てればごみ 分ければ資源！ 気仙沼市サロン開催！



7月26日(金)、気仙沼市役所ワン・テン庁舎にて気仙沼市みみサポサロンを実施しました。前半の講話のテーマは「ごみの分別」。循環型社会推進課の職員さんから、分別回収されたビン・缶類・ペットボトルが汚れていけば1本ずつ手作業で洗浄するという説明があり、参加者からは驚きの声が上がっていました。

後半の交流では、大型ごみの処分方法や震災時の家財道具の処分など、参加者間で活発な意見交換が行われました。ごみの分別への意識がさらに高まったサロンでした。



## ハッハッハッ…イゾ、イゾ、イエーイ！ 視覚・聴覚語らいサロン in 東松島

7月27日(土)は、矢本東市民センターにて、宮城県視覚障害者情報センターとのコラボによる「視覚・聴覚語らいサロン」。前半は「笑いヨガで元気になろう！」。参加者同士が向かい合って、大きく息を吸って・吐いてを30秒繰り返しながら笑い、会場は大きな笑い声でいっぱいになりました。

たくさん笑って脳が活性化した後、交流タイム。参加者から「楽しかった」「元気になった」などの感想が聞かれ、最後まで笑顔があふれる楽しいひとときとなりました。

